

Ikiiki  
Maebashi  
Jin



かばん職人  
外山 徳男さん・83歳  
千代田町二丁目

## 相手への思いやりの結晶

「使う人の顔を思い浮かべれば、自然に作業は丁寧になるよね。3代で18年間使われたランドセルもあるから」

昔は馬具屋を営んでいたトヤマかばん店の3代目。牛革を扱う馬具の技術を生かしたオリジナルランドセルで本市技能功労者表彰を受けている。

「馬具はアフターケアが基本。その発想でかばんを作ると、当然壊れにくい製品を作ろうとなりますよね」

他社製品であっても大切に使用されている物の修理は断らない。多様な製品を扱う経験が、独自の職人技に磨きをかける。

「ランドセルは外見が同じようでも個性がある製品。修理で気付いたことを改良につなげる、その繰り返しだよ」

技術の結晶であるランドセルには全国から注文が集まる。トヤマかばん店のランドセルでよかったという手紙や写真の束は宝物として積み重なる。

「好きなことを続けてきて、喜んでもらえるなんてありがたいよね。子どもの頃から仕事だけは好きだったから」

功労者表彰を受けた今も、毎日こつこつと仕事に向かう。「時代に応じて、職人の世界は変わるよね。でもさ、先代から学んだ、まずは相手を思いやるという姿勢は、せがれの代でも変わらないよ」



## 薄紅の花びらが舞う

3月28日に前橋地方気象台からソメイヨシノの開花宣言が出ると、市内のあちこちが薄紅色に彩られました。折からの暖かさで、4月1日には満開に。桜の名所では、開花を待ちわびた人たちが花見に訪れ、美しい姿を写真に収めるなどして、過ぎ行く季節を楽しみました。



ちょっとした工夫で日常生活は快適になります。この連載では消費生活啓発員が日常生活に役立つ情報をお知らせ。第1回は「有害紫外線とその予防」についてです。

### 知って防ごう有害紫外線

□紫外線のさまざまな作用  
太陽の日差しが気になる季節になりました。紫外線にはビタミンDの生成など良い作



用がある一方、浴び過ぎると健康に悪影響を及ぼすことも。日本では5月から紫外線が強くなり始めます。紫外線を浴び続けると、皮膚がんになったり、免疫機能が低下して感染症にかかりやすくなったりします。また、白内障にかかる危険性もあります。

□紫外線対策のあれこれ  
紫外線を防ぐためには、日傘やつばが7センチ以上の帽子、サングラスなどを利用しましょう。日焼け止めクリームを塗ることも有効です。

□紫外線測定器での実験結果  
私たち消費生活啓発員が行った実験では、夏の紫外線は1平方メートルあたり2,000マイクロワット以上。薄曇りでも紫外線量は晴れの日とあまり変わりませんでしたが、黒地でUV（紫外線）カット表示のある繊維は紫外線のカット率は高く、残存率は1,000分の1以下に。UVカットの繊維は洗濯しても効果が落ちません。UVカット率が高く汗も吸う、ポリエステルと綿の混紡繊維の生地がお勧めです。

問い合わせは 消費生活啓発員の会  
027-230-1755



## 高齢者の食や暮らしを記録

5月31日まで、アーツ前橋の地域アートプロジェクト〈風の食堂in粕川〉南風食堂「甘い記憶／食べる／続けて残ったもの」展を開催。アーティストの南風食堂が、粕川地区に住む高齢者の食や暮らし方などを取材し、言葉と写真で記録。粕川支所で展示しています。



## 新たな本との出会い

3月27日から、前橋こども図書館で本を詰め合わせた「〇〇袋」を貸し出しました。幼児向けの「ママだいすき袋」や小学校高学年から中学生向けの「冒険袋」など、テーマや対象が書かれた袋がずらり。子どもたちは、胸を躍らせながら袋を選んでいました。